allcinema

男ありて（1955）

メディア 映画
ジャンル ドラマ　スポーツ
製作国　日本
色彩　B&W
時間　109分
初公開日 1955/05/10

【解説】
　菊島隆三のオリジナル脚本を、丸山誠治が監督した野球映画。野球に全人生を捧げた男と、彼を取り巻く家族や仲間を描いている。志村喬の代表作とも言われ、澤地久枝による志村喬の評伝にもこの題名が使われた。
　プロ野球チームの監督を務める島村は、野球のことしか頭になく、家庭を顧みる余裕すらない。新人投手の大西が入団すると、家族に何の相談もなく、大西を自分の家に同居させてしまう。大西は島村の家族と打ち解け、娘のみち子とはお互い惹かれあう仲に。しかし試合でサインを無視した大西に、島村はついつい手を出してしまった。主将の矢野は島村を自宅に引き取り、怒って家出したみち子をなだめた。次の日、島村は判定を巡って塁審を殴り、一ヶ月の出場停止となってしまう。

【クレジット】

監督	丸山誠治		
製作	渾大坊五郎		
脚本	菊島隆三	Kikushima Ryuzou	
撮影	玉井正夫		
美術	小川一男		
編集	庵原周一		
音楽	斎藤一郎		
出演	志村喬		島村達郎
	夏川静江		妻　きぬ江
	岡田茉莉子		娘　みち子
	伊東隆		息子　照夫
	三船敏郎	Toshiro Mifune	矢野光男
	藤木悠		大西博
	清水元		小池
	清水将夫		瀬川記者
	土屋嘉男		丸山選手
	松尾文人		北岡選手
	加東大介		雑誌記者
	恩田清二郎		殴られる塁審
	河崎堅男		葬儀屋主人
	森啓子		みち子の友達
	河美智子		みち子の友達

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.